杉野小中だより

平成２９年１月２７日発行

杉野小中学校　教育の変遷を振り返る

校長　小川　守道

平成２９年が始まりました。旧年中はＰＴＡや地域の皆様には杉野小中学校の教育活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申しあげます。

さて、杉野小中学校は、その地域性から特色ある教育活動を行ってきました。本校は昭和２９年に木之本町立杉野小学校になって以来、７０年近くになります。その中で現存する学校経営資料は昭和４１年から残されています。本稿は資料の中から、本校の「学校教育目標」の変遷を振り返りご紹介いたします。

１．昭和４１年　学校目標

小学校　いかなる困難にも挫けることなく、よく打開の方途を講じて初志を貫徹するたくましい児童を育成する。

・進んで勉強する・仕事は終わりまでする・約束は守る

・体を丈夫にする・みんな仲良く

中学校　地域の美風の伸長をはかるとともに偏狭性を打破し、自主性に富む積極的な人格の陶冶に努める。

２．昭和６１年　学校目標

小学校　一人ひとりの成長を見極め、その持つ可能性を最大限に育てて社会に貢献できる子どもを育てる。

・心の美しい子・よく考える子・やり抜く子

・よく働く子

中学校　生徒の持つへき地性を打破し、次代を担うにふさわしい、心豊かでたくましい人間性を備えた生徒を育成する。

３．　平成１４年　小中併設校となる　また、１級へき地指定が準へき地指定となる

小中共通の学校目標

心豊かで　進んで学び　実践できる　児童生徒の育成

・自ら考え判断し実践できる子ども

・心身ともに健康で思いやりのある子ども

・ふるさとを愛する子ども

４．平成２２年

心豊かで　自らを磨き　実践できる　児童生徒の育成

・よく考え主体的に学び続ける子ども

・心身ともに健康で思いやりのある子ども

・ふるさとを愛し、ふるさとに生きる子ども

５．平成２８年

心豊かで　自らを磨き　実践できる　児童生徒の育成

・目標を持ち、何事にも進んで取り組み、最後までやり遂げる子ども

・明るく元気で、温かい思いやりや心づかいのできる子ども

ふるさとを愛し、結いや助け合いの心が持てる子ども

１．は、今の６０歳代の方が受けてこられた教育目標です。

２．は、地元で成長したお父さん、お母さんあたりの年代の教育目標です。

３．は、小中併設の新校舎となり、小中合同目標として一新された頃の教育目標です。

４．は、広域長浜市になった頃の教育目標です。

５．は、本年度の教育目標です。

知・徳・体の教育目標は、「不易」の部分であまり変わりません。ただ学習方法が、体系的に詰め込む学習、自ら学び方を学びながら自主性を重んじる学習、机上のみならず体験的に学んでいく学習と「流行」の部分があります。集団から個を重んじるところも大きな違いとなっています。

さて、杉野小中学校教育の変遷という意味では大きく変貌を遂げていったことがあります。地域に関わってです。１．２．の頃ですが、おじいさん、おばあさん、および、お父さん、お母さんの育った世代は、「偏狭性を打破し」や「へき地性を打破し」とあり、豪雪などにも負けずに知・徳・体をみんなで伸ばし､頑張っていこうという意気込みがあります。一貫して、地域にへき地性はあっても教育にへき地性はないとの信条であったと考え、地域も学校もハンデを凌駕する強さがあったと想像いたします。

３．になると、杉野の環境整備をなされつつ１級へき地から準へき地となります。ところが、学校目標の中に「ふるさとを愛する子ども」が入ってきます。地域外への人口の流出が増え（全国的な傾向の中で)、「ふるさと学習」が目標の中で明確化されます。今まで、子どもが地域に出てごく自然なうちに知恵をつけ、身に付けてきたことができにくくなり、その知恵が教育的価値も高いことから位置づけられたことと考えます。地域にある行事もあらためて教育活動に位置づけられ横山岳登山、八草峠祭り、コスモスコンサート、炭焼き体験、節分祭などが学校教育活動の一環として活動するようになりました。

さらに、平成１６年より以後、教育目標の柱の一つに「地域に根ざした教育の創造」が入ります。スローガンを「地域を学ぶ・地域で学ぶ・地域に学ぶ」とし、地域の協力を得ながら教育課程を作成して「ふるさと学習」を位置づけました。（※昭和の終わり頃、やまびこ教育という名のふるさと学習はあります。）現在の「ふるさと学習」の原型です。この頃より、「学習ボランティア・講師」として地域の方に大いにお世話を受けることとなります。

そして、４．の平成２２年には「ふるさとを愛し、ふるさとに生きる子どもの育成」、また、５．平成２８年（現在）では「 ふるさとを愛し、結いや助け合いの心が持てる子どもの育成」と変わっていきます。ちょっとずつの文言の変化ですが、意図する活動内容には大きな違いがあります。活動体験だけでなく、歴史・文化・経済等を守り継承する方々の生き様、考え方を理解し、自分で斟酌して価値ある考え方を取捨選択し、杉野で育った人間として誇りに感じて欲しいという願いがあります。たとえば横山岳山開きなど参加させてもらうとき、山を守るとはどういうことで、どんな思いで何をするのか、など肌で感じていくことは大切であろうと考えます。

働き盛りの方々が少なくなる現在、地域と関わる行事や学習が維持できなくなりつつあるこの頃ですが、「コミュニティーの中核として地域の活性化に貢献する学校経営」を謳っております。やれる限り、本校独自の教育を進めます。ただ、ますます、壮年層が少なくなり、自ずと子どもの数も極少状態となります。昭和の時代と比べものにならない状況ですが、地域の皆様の協力で学校教育が維持できております。どうぞ今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申しあげます。

長浜市 チャレンジ・ザ・ロープジャンプ大会 「教育長賞」を受賞！！

去る１２月２２日に「市長杯チャレンジ・ザ・ロープジャンプ大会」が県立長浜ドームで開催されました。今年は、６年生が高時小学校の６年生と合同チームを組んで出場し、「３分間８の字跳び」に挑戦しました。

壮行会で下級生からエールを送られる６年生。この後みんなでカレーをいただきました。

合計回数７１７回 一人当たりのとんだ回数は１１９．５回。見事、教育長賞をいただきました。

ふるさと学習 －そば打ち体験－

１月１６日(月)もみじ会館にて､そば打ちを体験しました。今年も地域の皆様と一緒にそばを播くことから始めましたが、せっかく発芽しても、２度とも鹿のえさとなり、残念ながら収穫はできませんでした。しかし、地域の方のご準備くださったそば粉を使って、おいしいおそばを作ることができました。地域の皆様、ありがとうございました。

杉野コラム 山々に響け！ 杉っ子ハーモニー

筧　明子

「全校でたった１０人なのに、なんてしっかりと歌うんだろう。」

着任早々の新任式で校歌を聴かせてもらった時、私は驚きました。休み時間、廊下を歩いていても、誰かの口ずさむ歌が聞こえてきます。まるで、木造教室の反響を楽しんでいるようです。

「本当に歌の好きな子ども達だなあ。」

まだ寒い４月の初め、心の中がほんわかと温かくなったことを昨日のことのように思い出します。

あれから、早９ヶ月。私は、木曜日の朝のさわやかタイムで、全校の「歌声」の指導をしています。最初はリズミックな曲で身体表現を入れながら、そのうち自分の担任する５・６年生に副旋律を任せてハモらせたり、季節の歌を取り入れたり、中学生にも一緒に歌ってもらったりと、少しずつ歌声の輪が広がってきました。少人数の上、年齢差もあるので、選曲が難しいのですが、

「これからの人生でふと思い出し、子ども達を支えてくれる歌になれば・・・。」と１曲１曲に願いを込めて選んでいます。そうすると、私の思いを汲み取ったように、子ども達はすばらしい響きを聴かせてくれるのです。歌は、いくら名曲でも、歌う人がいなくなれば埋もれてしまいます。みんなが口ずさむことで歌の生命が蘇り、歌う人にも聴く人にも力や感動を与えてくれるのです。

これからも子ども達と楽しく歌いながら、歌の生命を、そして杉っ子の素敵なハーモニーを受け継いで、山々に響かせていきたいと思います。

２月の行事予定

日	曜	小学校	中学校
1	水	交通指導　合同全校集会　校内研究推進委員会	
2	木	浅井歴史民俗資料館見学（３年生）	
3	金		
4	土	土曜授業(学習参観・杉野フォーラム)	
5	日		
6	月		県内私立高校入試
7	火	演劇ワークショップ③	県内私立高校入試
		小中委員会	
8	水	小学校入学説明会 14:00	県立高校推薦・特色・スポ文選抜入試
9	木		県立高校推薦・特色・スポ文選抜入試(実技)
10	金		県内私立高校発表
		第８回ＰＴＡ運営委員会(職員参加)	
11	土	建国記念の日	
12	日		
13	月		
14	火	小中クラブ	
15	水	安全点検　交通指導　避難訓練Ｖ　校内研究会	
			県立推薦・特色発表
16	木		
17	金	きのもと認定こども園雪遊び来校	
18	土		
19	日		
20	月	食育の日	
			３年書道卒業制作
21	火	杉の子学習補充 きのもと認定こども園雪遊び来校(予備日)	
22	水	卒業記念写真撮影 8:30 職員会議　職員研修Ｖ	
23	木		ＳＣによる心理授業
24	金	PTA 引継会	
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	小中合同委員会　月末統計	